

問題文

- 24 7回を終えて2対1で先攻チームがリードしていた。8回の表、先攻チームが1点を取り、その裏の後攻チームが得点しないうちに、雷雨のため球審が試合の打ち切りを命じた。3対1で先攻チームの勝ちである。 **回答**
(×)

【解説】 したがって、試合は7回終了後のコールドゲームとなり、**2対1** で先攻チームの勝ちである

参照

7.01正式試合(g)(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じたときに終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

[注] 我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、…中略…両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。(以下①、②省略)

※ 学童部に関する規則

全国軟式野球連盟 ◆少年部、学童部、女子大会 §2競技に関する連盟特別規則

1 正式試合 (2)コールドゲームの得点の扱い

連盟では、例えば両チームが、5回の攻撃を均等に完了し、6回の表に先攻チームが得点したが、後攻チームはその裏、同点もしくはリードしないままに、暗黒・降雨などにより試合中止を宣せられたような場合は、均等回の得点をもって勝敗を決する。

問題文

- 25 打球が偶然に捕手のはずしたマスクにフェア地域で触れた。ボールインプレイである。 **回答**
(○)

参照

定義25 フェアボール [注]

打球が地面以外のもの、たとえば打者が捨てたバット、捕手が外したマスクなどに、フェア地域で触れたときは、ボールインプレイである。